

令和7年度
校長だより

あかつき

11月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～



丹波市立新井小学校 校長 萩野由香里

短い秋が足早に過ぎ去ろうとしておりますが、澄んだ空気と穏やかな日差しを子どもたちと共に心地よく感じております。地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、学校では11月の生活目標を「ふわふわことば ふわふわ行動の 花をさかせよう」と決めました。「ふわふわことば」とは、「ありがとう」「だいじょうぶだよ」「すてきだね」「てつだうよ」等、心が元気になる温かい言葉です。このような言葉をかけてもらうと、うまくできないことがあっても「次も挑戦してみよう!」という勇気が湧きます。また、自分の行動がだれかの役に立っているという自己有用感にもつながります。一方で、学校生活の中では、言葉が足りなかったり攻撃的な言葉を使ったりして、けんかやトラブルに発展することも少なくありません。自分の気持ちをうまく伝えることが苦手な子もいます。学校では、言葉の使い方に気をつけることはもちろんですが、その背景にも目を向けることが大切だと考えています。だれでも不安や嫌なことがあると、自分のことで精一杯になり、心の余裕がなくなります。そして、相手のことを思つたり優しくしたりすることが難しくなります。だからこそ、言葉の使い方だけに注視するのではなく、「なぜイライラしているのかな?」「何か困ったことがあったのかな?」と、子どもたちの心の声に耳を傾け、ゆっくり話を聞くことが必要です。また、うまく言葉にできない気持ちを「〇〇があって悔しかったね。」「一緒に〇〇がしたかったんだね。」と代弁し、言語化してあげることも大切だと考えています。

家庭や地域におかれましても、子どもたちがどんな言葉を使っているかにぜひ注目してみてください。そして、「ふわふわことば」を耳にされた時には、「その言葉で元気が出たよ!」「その言葉、とっても嬉しいよ!」と、伝えていただければ幸いです。子どもたちの周りに、たくさんの「ふわふわことば」が広がっていきますように。

